特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 295 号]　令和 2 年 11 月 25 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

文芸企画展「郷土の作家たち」

テーマ（川と橋の文学）

11 月 25 日（水）～12 月 21（月）、約 1 か月間、草加ペンクラブ主催文芸企画展「郷土の作家たち」（川と橋の文学）が草加市立中央図書館三階展示室にて開催されています。

郷土の作家豊田三郎、森村桂が中川を、後藤明生、中島清治、木村高明らが綾瀬川を、松本孝、栗原直子が伝右川を文芸作品の中で生き生きと描いています。中島、木村は草加パドラーズの役員として活動していますが、草加ペンクラブにも所属し、文芸作品の中で郷土の河川を作品の中で描いています。

それぞれの作家の皆さんの著書、作品なども展示してありますので期間中にぜひ足を運んでみてください。

草加パドラーズの皆さんの綾瀬川や伝右川美化活動の精神と、文芸作品として故郷の風景を描く心情に共通するものを強く感じました。これからも皆さんに親しまれ愛される河川に再生する活動を、少しずつ続けてまいりましょう。

小雨の中/５名で２袋回収

11 月 25 日(水)、定例活動に木村、篠岡、井坂次、井坂治、中島の 5 名で小雨の中を蒲生船着場約 2.0 ㎞間のゴミ拾い活動を実施し、2 袋の成果でした。霧雨が降ったり止んだり、時には北風を受けながらの冷たい活動でした。治さんは三重県での 3 年間の仕事をしっかりとやり遂げ、東京に活動の拠点を移したので、本日の参加が実現しました。三重県の山間の清流を眺めた後の綾瀬川のゴミ拾いは異次元の世界のようにも感じるでしょうが、自分の生まれ育った故郷の河川に格別な愛着があればこその参加だと思います。5 名がカヌーで蒲生船着場へ向かっている途中、急に雨脚が強くなり、篠岡氏はそこから引き返しました。十分に防水加工したブルゾンではなかった様子で、とても寒がっていましたので安全第一の判断をしてもらいました。大変お疲れ様でした。

会員数 100 名
嬉しいお知らせ ！

11 月 22 日(日)、ついに会員数が 100 名になりました。これまで、体験で一緒に活動していただいていた磯部親子が正式に入会してくれました。お父さんの亮介さんが 99 番目、お嬢さんの文香ちゃんが 100 番目となります。6 年目にして、ついに老若男女 100 名になりました。